平成１３年１１月

いしだこういち
石田興弌

素晴らしきかなポンペイ

ポンペイに赴任して４年、デジカメを所持して１年半、激務の合間を縫ってポンペイの各地を探訪致しました。本月の還暦（本人は成人式と認識）を記念に素晴らしきポンペイの一部を紹介させて頂きます。過去の放蕩の報いか異常に高かった血糖値が当地で節制に目覚め、毎日の規則正しきウオーキングと週末の海や山野の探訪で１００～１１０間の正常値に復帰してしまいました。ポンペイの風土と人々の人情、山や海、川や滝の精霊達が私を蘇生させてくれた事を冒頭に感謝します。

ポンペイの玄関口ソケイロックはポンペイの象徴と申せます。空港到着前には海岸線が、次いでソケイロックが目に飛び込んできます。このソケイロックを目にするとポンペイに戻ったとの実感が湧いてきます。世界でもトップクラスで降雨量が多いポンペイですので雨の中の離着陸を多く経験します。雨が降ってる際に到着した訪問客は滞在中幸運に恵まれるとの言い伝えがあります。

（着陸直前に見えるソケイロック）

ソケイロックはポンペイのダイヤモンドヘッドとも言われています。玄武岩で出来ています。
色々な場所、色々な角度からソケイの風景を楽しむ事が出来ます。
ポーマリアビーチリゾート（空港近く）やサウスパークホテルからの至近の眺め、ビレージホテルやネッチポイントからの遠景も申し分ありません。
ソケイ半島一周中、間近に接する岩肌も迫力を感じます。
夜明け時、日没時の姿も印象的です。

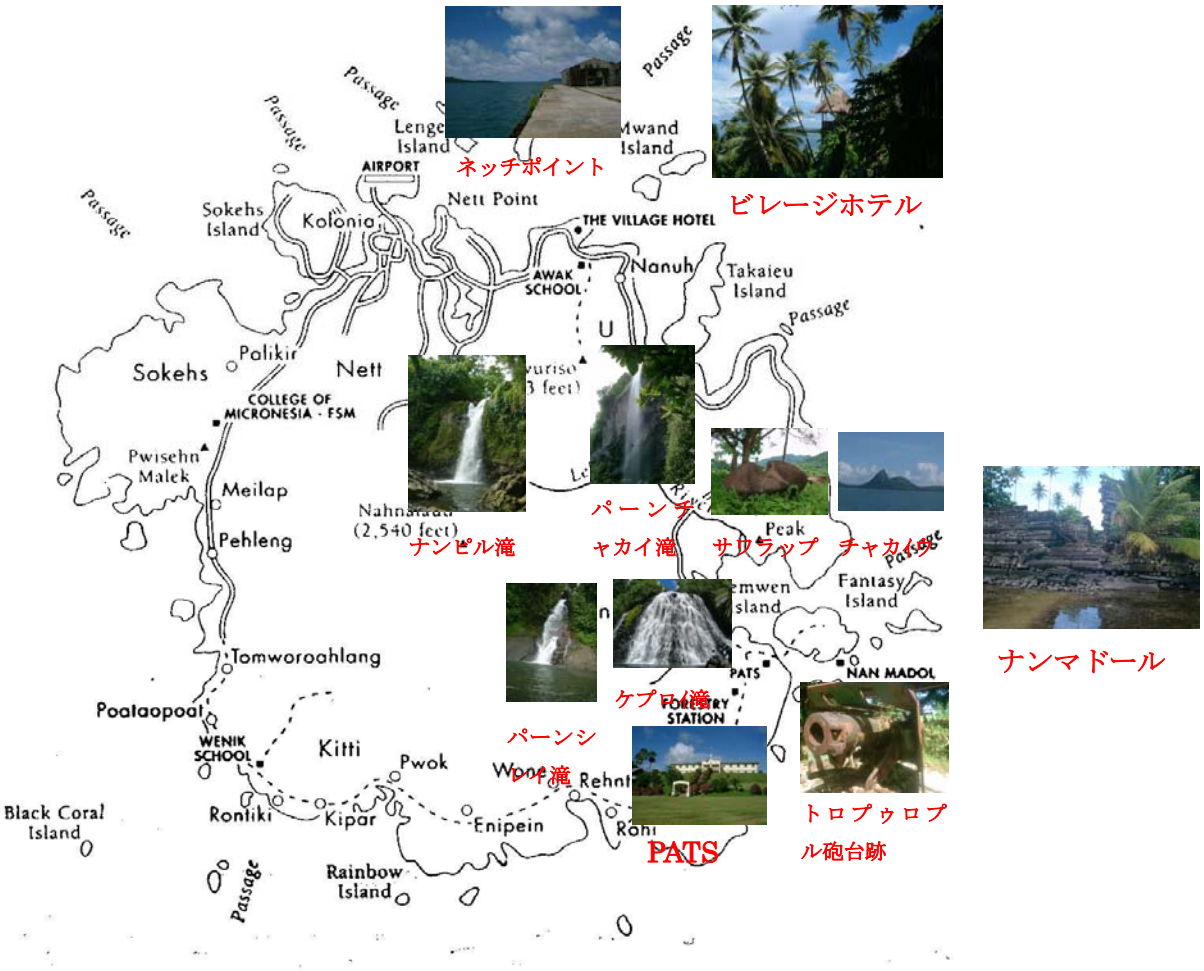
ロックに挑戦するのは奨めません。
しかし、この山はハイキングコースとしても有名です。
アンテナが設置してある頂上からは港や空港、市街、リーフや島々が一望の下に見渡せます。ここへのアクセスは容易です。中腹には旧日本軍の砲が数門残っており、錆びついた砲身は未だに照準を海の一点に合わせています。
固有の植物も数多く見られます。
一度は登山を経験されるのも一興かと思います

私の住家のベランダからの眺めです。

空港通りをポンペイ(コロニア)市内に向かう際の右手に見えるロックの威容をご覧下さい。

私が案内したいポンペイ島の各所を紹介します。
まずはポンペイの東側を順に紹介します。車での案内を前提としております。距離と時間は私の事務所（コロニア地区、バンクオブハワイ２階）を基点としています。

東側ルート名所



ポンペイの東側の海岸沿いのメイン道路を南下する場合の名所の概略です。東側の３０％は舗装されておりません。普通の乗用車では底を擦る恐れがありピックアップかランドクルーザーをチャーター(レンタル)するのがベターです。各所共メイン道路から支道に入ります。分岐点には標識が見当たらない所もあります。いずこの場所もガイド（案内人）を雇うのをお奨めします。
東側ルートは下記の順で案内します。所要時間でなくメイン道路から分岐点までコロニアから近い順としました。

	名称		名称
1	ナンピルの滝	7	ケプロイの滝
2	ネッチポイント	8	チャカイウー山
3	ビレージホテル	9	ＰＡＴＳ
4	パーンチャカイの滝と洞窟	１０	トロプゥロプル砲台跡
5	サワラップの丘	１１	ナンマドール
6	パーンシレイの滝		

１．ナンピルの滝／リトゥトゥーニャップの滝

二段になって落下してる滝で「双子の滝」として知られています。Nett(ネッチ)自治区にあり、コロニアから車で１５~２０分で滝へのハイキング入口に到着し、そこから歩いて５~８分で第一段目(上段)の滝に到着します。その小さい滝壷から水流が激しく第二段目(下段)の滝に落下しております。
上段の滝の天辺を覗いて下段の滝へ向かいます。下段の滝への道は比較的急で滑りやすいので足元には注意が肝要です。滝壷で水浴を楽しむ方もいます。残念ながら上下二段の滝を同時に写す場所がありません。植物の鑑賞にも最適です。

２．ネッチポイント（Nett Point）

かっては商港岸壁として使用されていたと思わせる古びた倉庫が残っています。
現在は先端部分を改造し真珠貝の稚貝の育成を行っています。
週末にはポンペイの方達のレクレーションの場所として人気があります。
水泳、釣り、バーベキューを家族単位、地域単位で楽しんでいる光景に出くわします。ここからランガル島、パランペイ島、ビレージホテル、空港滑走路、そしてソケイ山の遠景を見る事が出来ます。時折、岸壁の傍らを通過する船外機付きボートに対し自然と手を振ってしまいます。

海は澄んでおります。岸壁下に集まる魚や近くで飛び跳ねてる魚が見られます。
上の写真はネッチポイントより眺められるランガル島の遠景です。
右が Lenger（ランガル）島、左が Supwtik(サプゥチック)島です。
正午を過ぎた頃にコンチネンタルの定期便(ボーイング７３７)が滑走路の先端から離発着するのを眺めることも可能です。
多忙な訪問者はここで海と対話して下さい。

３．ビレージホテル（Village Hotel）

車で１３~１５分南下すると左側に写真の看板が見えます。そこを左折して未舗装の道を進むと手作りで有名なビレージホテルに到着します。
このホテルのオーナーであるボブ・アーサーとパティ.アーサーがポンペイの長老と相談し、この地を建設地に決め、１９８７年３月に７年の歳月をかけて完成した伝統的なポナペ式建築法のコテージで、全ての部屋は珊瑚礁が眺められ、そしていい風が入るよう設計されています。パンダナスの一種の葉で屋根は編まれており、メンテナンスの職人が常時手入れを行っています。
米国や豪州の方に人気がありますが日本人の観光客の訪問も増えています。
日本人の青年が一名常駐しホテル学の訓練を兼ねて接客も行っております。
外観は島のハイクラスの方の住家の感じですが、室内は大きなウオーターベッドや白木の家具等が備えつけられております。
非常に静寂です。
特に夜間は何処よりも静寂です。
下の写真は部屋の外観です。

ホテルのレストランの突き出た所で景色を眺めながらの昼食をお奨めします。
このホテルレストランの突端部分はＴシャツや各種の案内、宣伝に利用されております。今やポンペイの一つのシンボルともなっております。
目に入る海と種々の植物、鳥達、そして静けさ、南国情緒を堪能できます。
私の子供、特に娘は空港に着くや否やここに直行するのを希望します。

もぎたてのココナツの果汁（ジュース）とサンドイッチを注文して大満足しております。
この手作りのホテルは１９９１年６月に国際的に権威があるホテル部門の賞（第一回エコツーリズム賞）を受賞しております。
ホテルに到着した際に誰もが感嘆する眺めです。ソケイロックが望見できます。